

東日本大震災 薬剤師ボランティア活動報告（宮城県石巻エリア）

香川県薬剤師会

くすりのレディ 多度津調剤勤務

吉田 亜希子

【活動期間】 2011年5月16日～5月20日

【活動内容】

● 5/16（月） 出発

時間	場 所	内 容
7:40～13:03	高松空港発	東京を経由し、飛行機と新幹線で仙台駅まで移動
13:20	チサンホテル仙台着	四国ブロックメンバー合流（計4名）
14:00	チサンホテル仙台発	レンタカーで移動
15:40	バイタルネット石巻着	宿泊場所（石巻薬剤師会仮事務所）、駐車場の確認。 スタッフジャンパーをいただく。
16:30	石巻薬剤師会仮事務所 （（宿泊場所）	地震発生時の避難場所を確認。 空時間に周辺状況確認
18:00	〃	ミーティング（当時の活動報告）に参加
19:00	〃	食事、寝支度



<宿泊場所から徒歩15分くらいの場所での光景>

● 5/17（火） OTC配薬・回収・聞き取り、衛生環境の確認～牡鹿方面～

時間	場 所	内 容
5:30～7:00	石巻薬剤師会仮事務所	起床 → ミーティング（当日の活動確認） → 掃除
8:00	バイタルネット石巻着	OTC班の活動内容・巡回経路の確認・準備
10:40	〃 発	レンタカーで移動（2人組で活動）
12:25～13:05	寄磯小・中	アセスメントシートより、ムカデ駆除薬（ムシコロリアース）を届ける。 トイレ掃除等に使用してるクレベリンスプレー、虫対策のバポナ・キンカンなどを補充。

		トイレは毎日掃除してるのでとても清潔。
13:25～13:40	前網浜避難所（一軒家）	トイレ掃除などに使用している、クレベリンスプレー、虫対策のバポナ・キンカンなどを補充。
15:00～15:30	小網倉浜避難所（2箇所）	2箇所避難所があるが連携がない。 アセスメントシートより、置き薬がまったくくないという避難所へ必要と思われる薬を補充。虫対策、クレベリンなども補充。
16:05～16:20	月浦避難所	アセスメントシートより、トイレのうじ殺しを届ける。トイレは2箇所あるが、お年寄りなどが使用する洋式のトイレが水洗でなく不衛生とのこと。 虫対策、クレベリンなども補充。
16:40		イオン辺りの道が冠水していた。何とか通過できた。
18:00～23:00	石巻薬剤師会仮事務所	ミーティング、引継ぎ → 食事 → 就寝



＜冠水した道路＞

牡鹿半島の避難所を巡り OTC の管理状況や避難所の衛生状況などの確認や、注文のあったものを届けました。

また、その避難所の責任者の方のお名前と連絡先も確認させていただきました。

地震や津波の影響を大きく受けている様子で建物があまりなく近くにスーパーなどもないので、自衛隊の方が食料など必要なものを届けているような地域でした。

暖かくなって虫がたくさん出てきているのでその対策を希望する声や、トイレの衛生状況が悪いところがあるなど、まだまだ継続的に支援が必要と感じる地域でした。

避難所の状況や要望はアセスメントシートという記録用紙に記入し、次の方へ引き継ぎます。

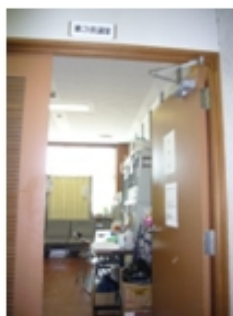
● 5 / 1 8（水）女川総合体育にて調剤業務

時間	場 所	内 容
5:30～7:20	石巻薬剤師会仮事務所	起床 → ミーティング → 出発（レンタカーで移動、途中渋滞あり）
8:25	女川総合体育館	準備
9:00～12:00	〃	午前診察（Dr 2名、Ns 1名） 調剤業務（7名）
12:00	〃	午前診察終了、昼食 在庫の少ない薬を女川町立病院から分譲いただく。
13:00～15:00	〃	保健相談（保健師の方と一緒に、8名）
14:00～15:30	〃	午後診察（Dr 2名、Ns 1名）

		調剤業務（3名）
18:00～23:00	石巻薬剤師会仮事務所	ミーティング → 食事 → 就寝



<女川総合体育館>



<救護室>



<薬品棚>



<災害対策緊急薬袋>

この避難所には、750人程が生活しておられました。

1階の1室に救護所があり、Dr 2名、N's 1名、薬剤師 2名で業務にあたりました。薬剤師はDrがカルテに書いた処方その場で調剤・投薬します。薬袋は繰り返し使用していただきます。薬歴はないので基本的にお薬手帳を手書きで記入し次回もお持ちいただくよう説明しお渡ししました。

救護所には1日20～30名の患者様が来られていて、時期的なこともあり体調不良で受診される患者様は減ってきていたそうです。

慢性疾患の患者様は基本的には1週間前後の投薬でした。

お昼の健康相談では、保健師の方と被災者の方のお話を伺いました。相談に来られるのはお年寄りの方が多く、ほとんどの方は震災後に血圧が上昇し心配しているといった方でしたが、震災から2ヶ月がたち少し落ち着いてきている方が多かったように感じました。しかし、食事や睡眠の面などでストレスはかなり感じている様子でした。

● 5 / 19 (木) 女川総合体育館にて調剤業務

時間	場所	内容
5:30～7:20	石巻薬剤師会仮事務所	起床 → ミーティング → レンタカーで出発
8:20	女川町立体育館	準備
9:00～12:00	〃	午前診察 (Dr 2名、Ns 1名) 調剤業務 (9名)
12:00	〃	午前診察終了、昼食 在庫の少ない薬を女川町立病院から分譲していただく。
13:00～15:00	〃	保健相談 (保健師の方と一緒に、11名) OTC聞き取り、配薬 (体育館内の避難所)
14:00～16:30	〃	午後診察 (Dr 2名、Ns 1名) 調剤業務 (15枚)

17:00	女川総合体育館発	
18:00～19:30	石巻薬剤師仮事務所	ミーティング、引継ぎ
21:00～24:00	チサンホテル仙台	食事 → 就寝

5/18 同様、基本的には救護所で調剤業務を行いました。

また、この避難所では OTC の管理も派遣薬剤師が行っており、空き時間には避難所をまわって OTC の配薬や聞き取りを行いました。

OTC 薬は救護所で管理されていますが救護所に OTC の相談に来られる方はあまりおらずこちらから出向いていきます。その時に、あまり時間を取れないのですべての方に声かけすることは難しいことだと感じましたし、OTC を救護室にいくつかそろえてあるということを知らない方がたくさんいることもわかりました。

そこで、夜のミーティングでは OTC の相談でも救護室に来ていただけるように避難所の方に周知していただくことを提案しました。

● 5 / 2 0 (金) 帰宅

時間	場 所	内 容
10:00	チサンホテル仙台	出発
12:00～21:00	J R 仙台駅発	東京を経由し、J R と飛行機で高松空港に到着

【活動を終えて】

震災後 2 ヶ月が経過しているせいか、景色はやはり信じられない光景が広がっていて言葉が出ないような状況でしたが、被災者の方々は想像していたよりは落ち着いてこられてきたのかなと感じました。

活動の方針は意外にも被災者の自立をお手伝いしていくという、ちょうどそれまでとは少し方向性を変化させないといけない時期になってきていて、活動自体を縮小させるという難しい時期でした。早くもそんな時期なのかという驚きと、見守ることの難しさやもどかしさを感じながら私の現地での活動は終了しました。

被災者の方や現地の先生方のお役に少しでも立つことができればと、自分にできることはしてきたつもりです。

被災された方からはこちらで見たことや感じたことなどをできるだけ多くの人に伝えてほしいという声が聞かれましたので、今後は伝えるという活動を続けていこうと思います。

以上